

## 経営会議・会議録概要

I、日 時 令和6年1月4日(水) 午前11時00分～11時20分

II、場 所 委員会室

III、出席者 経営会議構成員、政策推進部総括次長、政策推進部財政課次長、政策推進部戦略企画課長、同上席主査

IV、案 件

- 1 令和6年仕事始めにあたって
- 2 令和6年度当初予算編成について
- 3 その他

V、内 容

【副市長】

- 経営会議を開催する。
- それでは市長より新年のあいさつを頂戴する。

【市長】

- こうして新年に同じ顔を当たり前のように見られることを幸せに感じる。
- いろいろなものを失ったり、加えたりしながら、人生というのは進んでいくのだということに改めて認識している。
- 大東市には5万5千の家庭があり、12万人の個人がおられるということをしっかりと受け止めるということが市政の大きな担いであると、元旦の地震及び翌日の飛行機事故を踏まえて強く感じている。
- 今回の事案を大東市としてどのように受け止め、どう活かすかが重要である。
- 皆様のそれぞれのスキルをもって、この経験を教訓として活かすことができると安心はしているが、一方で経験豊かで知見の高い皆様が連携し合えることも重要である。
- 連携というのは相手を慮って遠慮するものではない。少し発言を控えたり、行動を制限したりするのは、足し合わせではなく引き算になる。
- 足し算と掛け算をさらに上回るような個々の力の結集を5つ目の演算方法として構築していただきたい。また、それを率先して私が引っ張っていくべきであると認識

している。

- この後、政策推進部から説明があるが、財政というのは、地方自治体のスキームでは、右肩下がりになる。この右肩下がりのスキームの中で、あがき苦しみ、市民生活を維持していくには限界がある。
- そこで、新たな味付けや視点を加えるということで、公民連携や住民自治など様々な工夫をしてきた。飛躍的な要素が加わらなければ中長期的には財政は逼迫していく。
- 民間のファイナンスを呼び込むスキーム、効率を飛躍的にあげる DX など、加えるべき要素について、皆様のギアを3段階くらいあげて、向き合っていたきたい。
- 年末に1年をしっかりと振り返し、反省や教訓を新しい年に活かしてほしい、と伝えた。
- しかし、元日から世間を不安に陥れる事案が起こってしまった。そこで、本年はこれまで以上に想定外に対応すべき心構えを3段階くらいあげてほしい。
- 生駒断層地震がやってくるかもしれない。南海トラフ地震がやってくるかもしれない。その「やってくるかもしれない」を「やってくるに違いない」という危機感にシフトさせ、366日を一日一日踏みしめるような過ごし方をしてもらいたい。
- それが能登半島地震を踏まえた我々の対応である。
- 希望の光をもち、目指すべき方向は様々あるが、足元をすくわれぬように、元日の教訓を366日持ち続けていきたい。
- その上で、大東市一人勝ち作戦ではなく、北河内全体のベースアップ、そして大阪府全体の活性化、大東市全体と近隣の魅力を足し算・掛け算をしながら、昇り龍の希望の年を進んでまいりたい。
- そのためにも、燃える職場で個々の健康管理と気力の充実にこれまで以上に努めていただきたい。そして、令和5年度をしっかりと納め、令和6年度に向けて、勢いをつけていっていただきたい。
- 災害警戒本部においても心強い皆様であった。頼もしい皆様の存在を市民の皆様にも理解していただくべく、これからも絶え間なく、力強く取組を進めてまいりたいので、本年もよろしく願います。

#### 【副市長】

- それでは、「令和6年度当初予算編成」について報告をお願いします。

【政策推進部長】

- このたび、令和6年度の当初予算編成を行ったのでご報告する。  
    《資料に沿って説明》
- 今後復活要求を経て、最終内示を行う予定であるが、これ以上の基金の繰り入れ等は想定していない。
- 厳しい財政状況であることをご理解いただき、協力をお願いする。

【副市長】

- 意見、質問はあるか。

【理事兼都市経営部長】

- 記載の予算額は、肉付け予算を除いた額か。
- 肉付け予算額はいくらか。
- 肉付け予算の補正の時期はいつか。
- 肉付け予算額が少ない印象があるが、骨格予算と肉付け予算の基準はあるのか。

【財政課次長】

- 予算額は肉付け予算を除いた額で、肉付け予算としては約2億円弱を想定している。肉付け予算は6月補正を予定している。
- 政策的経費のうち、I類事業と新規事業を基本としつつ、前年度までに債務負担として計上した経費、事業の進捗を図るために必要な経費、年度当初に実施する必要がある経費、団体の運営のために年度当初に必要な補助金、その他6月補正予算前に着手が必要となる見込みが高い国・府の補助金がついた経費は例外として骨格予算とした。

【副市長】

- 他に質問等はあるか。
- 明日内示があるということなので、細部については明日以降に確認いただきたい。
- その他何かあるか。

【危機管理監】

- 危機管理室から、令和6年能登半島地震の本市の対応について報告する。

- 大東市においては震度4が観測され、職員は A 号配備、自動参集であり、77名の参集があった。A 号配備の対象職員数のうち79%の方に集まっていた。感謝申し上げる。

《配付資料に沿って説明》

- 職員の派遣依頼については、関西広域連合を通じて調整をされているとのことであるが、まずは政令市で対応するようである。

【副市長】

- 何か質問はないか。
- 他に何かあるか。

【副市長】

- ないようであるので、これにて経営会議を閉会する。

(以上)